

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年6月28日

評価対象事業		評価者	教育総務課担当課長 小澤 圭介		
教育-13	実施事業	生涯学習センター管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	教育総務課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	生涯学習	施策の方針	学習環境の整備・充実	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	学習活動を展開できる場の確保と利用しやすく質の高い魅力的な施設づくりを進めるため。
効果	「いつでも」「どこでも」「だれもが」気軽に学習できる環境の整備・充実を図る。

2 平成30年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習センター管理業務補助嘱託員の配置や事務用消耗品の購入など、生涯学習センターの運営に必要な事務を行った。 生涯学習センターの総合管理、各所修繕や生涯学習ネットワークシステムの保守管理など、施設の維持管理を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人口等のデータ	人口	176,466人	176,308人	人口	176,436人	
	世帯数	81,150世帯	81,763世帯	世帯数	82,444世帯		
	事業の対象者数	538,782人	472,875人	事業の対象者数	531,000人		
運営資源状況	決算値(千円)	227,057	159,200	当初予算(千円)	309,734		
	国県支出金			国県支出金	58,345		
	地方債			地方債	94,200		
	その他	42,880	35,437	その他	51,211		
	一般財源	184,177	123,763	一般財源	105,978		
事業経費運営	人員配置数	5.6	5.1	人員配置数	4.7		
	人件費(千円)	42,815	40,007	人件費(千円)	36,829		
	総事業費(千円)	269,872	199,207	総事業費(千円)	346,563		
	市民1人当りの経費(円)	1,529	1,130	市民1人当りの経費(円)	1,964		
	対象者1人当りの経費(円)	501	421	対象者1人当りの経費(円)	653		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> その他	見直しの内容	収入確保の方策を検討していく。
	事業内容・予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	築30年以上が経過し、各所の老朽化が激しく、部分的にいつ機能が停止してもおかしくない危機的な状況にあり、大規模修繕の必要性及び緊急性が高まっている。	

総評(評価に対する考え方、根拠等)	いつでも、どこでも、だれでも学ぶことが出来る生涯学習社会の実現のため、計画的な維持修繕に努め、快適に学べる施設の整備充実を図っていく必要がある。
-------------------	--

平成30年度(2018年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	・厳しい財政状況により、生涯学習センターの修繕計画が思うように進められない。同様に貸出機器の更新・施設の維持修繕も十分に行えていない状況である。公共施設再編計画との整合性を図りながら、今後も関係課と協議し、重要なものについて予算確保に努めていく。	
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	・鎌倉生涯学習センターの給水管・受変電設備等の老朽化した施設の改修を実施したほか、トイレの洋式化改修等を行ない、利用者への利便をはかった。 ・鎌倉生涯学習センター耐震改修工事設計の委託を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	・鎌倉生涯学習センターは耐震改修工事を実施するが、財政状況の厳しさにより、他の改修の必要な設備等の修繕計画に着手できていない。また貸出機器の更新も十分に行えていない状況である。公共施設再編計画との整合性を図りながら、今後も関係課と協議し、重要なものについて予算確保に努めていく。 ・耐震性能の低下により休館している鎌倉生涯学習センターの、早期再オープンをめざす。	

◎ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	学習センター利用者数					単位	千人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)		H30(2018)	R01(2019)		耐震改修工事による施設の一部使用休止のため、目標値を変更した。
生涯学習の振興状況を計るため	目標値	580.0	585.0	590.0	595.0		600.0	285.0		
	実績値	627.0	560.0	535.0	538.0		473.0			
	達成率	108.1%	95.7%	90.7%	90.4%		78.8%			

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方										
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--